

# NoMaps北海道未踏の概要

- 25歳未満の突出したIT人材を発掘・育成する「未踏IT人材発掘・育成事業」（経済産業省／独立行政法人情報処理推進機構）は、これまでに250名以上が起業・事業化し、優れた製品・サービスが生まれているほか、ユニコーン企業（未上場で時価総額1,000億円以上）を2社輩出するなど注目を集めている。また、北海道からも例年多くの学生が同事業に採択されている。
- NoMapsでは、こうした未踏人材等の活用による企業や地域が抱える課題の解決と新たなビジネス創出を支援するとともに、次世代未踏人材を発掘・育成する「NoMaps北海道未踏」をスタートする。



# NoMaps北海道未踏のコアメンバー



## 坂本 大介 氏

北海道大学 大学院情報科学研究院 准教授  
人とコンピュータやロボット等とのインタラクション設計に関する研究が専門。Laval Virtual 2010審査員特別グランプリなど国内外の学術会議やシンポジウムにおいて最優秀論文賞等を多数受賞。  
公立はこだて未来大学の学生であった2002年に未踏事業に採択され、2003年、2004年も採択。



## 中島 秀之 氏

札幌市立大学学長  
公立はこだて未来大学 名誉学長  
プログラミング言語分野と人工知能分野の融合など、日本のAI研究を牽引してきた第一人者。2004年から2016年3月まで、公立はこだて未来大学の学長として、多くの若きIT人材を育成。2018年より札幌市立大学学長。2003～2005年に未踏PMを務め、現在は審査委員の立場で、未踏事業の運営に携わる。



## 竹内 郁雄 氏

一般社団法人未踏 代表理事  
未踏事業 統括プロジェクトマネージャ  
NTT研究所にて、AIのための記号処理プログラミング言語等の研究開発を行う。電気通信大学、東京大学等の教授を歴任。「竹内関数」の考案など業績多数。  
未踏事業がスタートした2000年からプロジェクトマネージャとして参画。また、未踏事業の卒業生支援を行う一般社団法人未踏の代表理事を務めている。

# 参考：NoMapsにおける未踏人材の実証実験支援例

## 水丸 和樹 氏 (2018年未踏採択)

北海道大学大学院修士課程(採択当時)

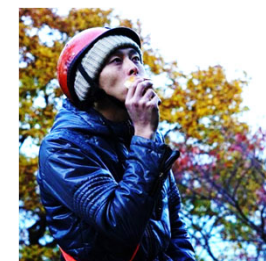
- ・「誰でも」「簡単に」異種ロボット同士のコミュニケーションを実現し、ロボット同士の会話による新しい体験をユーザに与えるソフトウェアを開発。
- ・NoMaps支援の下、2019年にセイコーマート北海道大学店において、異なるコミュニケーションロボットがスムーズな会話で商品をPRし、売上への効果を検証する実証実験を行った。
- ・その後、水丸氏はロボットアプリの開発やAI・IoTのシステム開発を行う株式会社まづみるを設立。



## 桂 大地 氏 (2018年未踏採択、スーパークリエイタ認定)

北海道大学工学部4年(採択当時)

- ・爆発的な競技人口の増加が見込まれるボルダリングにおいて課題となっている最適なコースの作成を、AIで容易に行うことができるアプリケーションを開発。
- ・NoMaps支援の下、2020年1月にボルダリングとITの融合による新たなエンターテインメントの創出を目指した大会を開催。
- ・その後、桂氏はスタートアップのビジネス機会拡大を目的としたNoMaps Dream Pitchに登壇。



- ◆ コース作成支援
  - 身長による有利不利へのアンサー
  - 基準の不明瞭さへのアンサー
- ◆ コースの記録
  - コース表記数の限界へのアンサー
- ◆ 動画の共有
  - ボルダリング技術・体験の向上支援

提示されるホールドの候補を選んでいくだけでコースの作成が可能！